

- 問1 明治初期、学制に基づいて設置された小学校において、女子の就学率が男子に比べて著しく低かった背景や、その後の変化に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 女子には学校に通う義務が法的に課されていないため、教育普及の対象から外されていたが、大正デモクラシーの時期により就学が進んだ。 | 2. 家事や育児の担い手として女子の労働力が期待されていたため就学が遅れたが、産業の発達や義務教育の徹底により明治末期には格差が解消された。 | 3. 当時の小学校は男子のみを対象とした軍事教育が中心であったため、女子の入学が厳しく制限されていたが、日露戦争を機に女子教育が奨励された。 | 4. 授業料が高額であったため、農村部では男子のみを優先して通わせる傾向があったが、明治中期に授業料が完全に無料化されたことで男女同時に100%に達した。 |
|--|--|--|---|
-
- 問2 1871年に欧米へと派遣された岩倉使節団には、日本で初めての女子留学生たちが同行していました。その一人であり、アメリカでの長期にわたる留学生生活を終えて帰国した後、女子の自立と地位向上を目指して現在の津田塾大学の前身である「女子英学塾」を創設した人物を次の中から選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| 1. 津田梅子 | 2. 市川房枝 | 3. 平塚らいてう | 4. 樋口一葉 |
|---------|---------|-----------|---------|
-
- 問3 1872年に明治政府が、輸出の主力製品であった生糸の品質向上と増産を図るために群馬県に設立した、フランスの技術と機械を導入した日本初の本格的な機械製糸工場の名称を選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 1. 八幡製鉄所 | 2. 富岡製糸場 | 3. 足尾銅山 | 4. 長崎造船所 |
|----------|----------|---------|----------|
-
- 問4 1895年に結ばれた下関条約によって、日本が清から一度は譲渡を受けたものの、ロシア・ドイツ・フランスの3か国による強い要求（三国干渉）を受け、清に返還することとなった半島を何といいますか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 遼東半島 | 2. 山東半島 | 3. 能登半島 | 4. 朝鮮半島 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問5 1894年、日清戦争が始まる直前に外務大臣の陸奥宗光がイギリスと調印し、幕末以来の不平等条約の一部を解消した歴史的な出来事として、適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------------|--------------------|---------------------|
| 1. 領事裁判権の撤廃 | 2. 関税自主権の完全な回復 | 3. 日露戦争の講和による利権の割譲 | 4. 下関条約の締結による賠償金の獲得 |
|-------------|----------------|--------------------|---------------------|
-
- 問6 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約では、日本とロシアの国境が新たに定められました。この条約の結果、日本がロシアから譲り受け、新たに日本の領土となった範囲を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|--------------------|------------------|-------------------------|
| 1. 樺太の北緯五十度以南の地域 | 2. 樺太の全域および千島列島の全域 | 3. 宗谷海峡から北側の樺太全域 | 4. 千島列島の北端にある占守島から南側の全島 |
|------------------|--------------------|------------------|-------------------------|
-
- 問7 三国干渉によって遼東半島を清に返還せざるを得なくなった日本国内では、ロシアに対する反発が急速に強まりました。このとき、将来の報復のために耐え忍ぶという意味で、国民の間に広く合言葉として使われた四字熟語を選びなさい。 (2024年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 四民平等 | 2. 臥薪嘗胆 | 3. 弱肉強食 | 4. 富国強兵 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問8 幕末に結ばれた不平等条約には、日本国内で罪を犯した外国人を、日本側ではなくその国の領事が裁く「治外法権（領事裁判権）」が認められていました。この権利の撤廃を目指し、1894年にイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、交渉を成功させた人物は誰ですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|--------|---------|
| 1. 岩倉具視 | 2. 小村寿太郎 | 3. 井上馨 | 4. 陸奥宗光 |
|---------|----------|--------|---------|
-
- 問9 明治時代初期の日本において、武力で朝鮮に開国を迫るべきだとする主張に対し、岩倉具視らが反対し、最終的にその主張が退けられた理由として最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 富国強兵を進めるために、朝鮮を武力で屈服させるのではなく、対等な立場で経済協力を行うことが不可欠だと判断したため。 | 2. 欧米諸国の視察から帰国した直後であり、外征よりもまずは国内の政治体制を整える「内治」を優先すべきだと考えたため。 | 3. 西洋の文化や制度を積極的に取り入れる文明開化の時期において、鎖国を続けるべきだとする尊王攘夷の考えが強まったため。 | 4. 明治政府がすでに朝鮮との間に正式な開国条約を締結しており、あえて武力を用いる必要性がなくなっていたため。 |
|--|---|--|---|
-
- 問10 大日本帝国憲法の条文において、日本国民（臣民）には言論、著作、印行、集会および結社の自由が認められていました。しかし、これらの自由を享受するためにはある特定の条件がついていました。その条件として憲法第29条に明記されていた文言を選びなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 公共の福祉に反しない限り | 2. 憲法の範囲内 | 3. 勅令の範囲内 | 4. 法律の範囲内 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
-
- 問11 19世紀末、フランス人のビゴーが描いた風刺画には、日本を象徴する人物と清（中国）を象徴する人物が、池の中で「朝鮮」という文字が書かれた魚を釣り上げようと競い合っている様子が描かれています。この風刺画が象徴している、1894年に日本と清の間で始まった戦争はどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|----------|---------|
| 1. 第一次世界大戦 | 2. 日清戦争 | 3. アヘン戦争 | 4. 日露戦争 |
|------------|---------|----------|---------|
-
- 問12 日清戦争を終結させた下関条約の内容と、その後の国際情勢について述べた文として、正しい背景や因果関係を示しているものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 条約によって賠償金を得る代わりに領土の割譲は行わないこととし、東アジアの平和を維持する体制を整えた。 | 2. 清が朝鮮の独立を認めたことで、朝鮮に対する清の支配権が否定され、日本は遼東半島や台湾などを獲得した。 | 3. 日本がロシアから樺太の南半分を譲り受けることが決まり、これに反発した清が遼東半島の返還を求めた。 | 4. 日本が獲得した遼東半島に対し、イギリス・アメリカ・フランスが東洋の平和を乱すとして返還を要求した。 |
|---|---|---|--|
-
- 問13 明治時代初期、政府が北海道の開拓と統治を推し進めるために設置した、地方行政機関の名称として正しいものを選択してください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------|---------|
| 1. 開拓使 | 2. 北海道庁 | 3. 鎮台 | 4. 屯田兵局 |
|--------|---------|-------|---------|